

平成26年度 学校評価（教職員用集計結果）

回収率100%

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

教育課程	1 校長は学校運営について明らかにしている	昨年度	A 67%	B 33	
		今年度	A 100%		
	2 教育活動を十分検討して編成している		A 44	B 56	
			A 80	B 20	
	3 願いを踏まえた教育課程を編成している		A 67	B 33	
			A 100		
教科指導	4 個に応じた学習指導を行っている		A 67	B 33	
			A 50	B 50	
	5 よくわかる授業づくりを実践している		A 44	B 56	
			A 30	B 70	
	6 学習形態の工夫改善を行っている		A 67	B 33	
			A 40	B 50	
	7 学力や到達度を適切に評価している		A 33	B 67	
			A 50	B 40	
8 調査の結果を生かした指導を行っている		A 22	B 78		
		A 30	B 60		
道徳教育	9 命の大切さ、ルール等を身につけさせている		A 78	B 22	
			A 80	B 20	
	10 道徳の時間の充実を図っている		A 44	B 56	
		A 40	B 50		
	11 体験を通して道徳性の育成を図っている		A 56	B 44	
			A 40	B 50	
特別活動	12 学校行事の工夫・改善を行っている		A 44	B 56	
			A 70	B 20	
	13 児童の主体的な活動を支援している		A 67	B 33	
			A 80	B 20	
14 勤労・職業観を身につける指導をしている		A 56	B 44		
		A 40	B 50	C 10	
特別支援教育	15 特別支援委員会が効果的に機能している		A 44	B 56	
			A 60	B 40	
	16 教育的ニーズに応じた指導に努めている		A 44	B 56	
			A 40	B 50	C 10
生活指導	17 組織的に対応できる体制が整っている		A 67	B 22	C 11
			A 80	B 20	
	18 児童の相談にのっている		A 67	B 33	
		A 50	B 50		

		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
生活指導	19 交通ルールや安全な使い方を指導している	A 67							B 33			
		A 100										
生活指導	20 規則正しい生活を指導している	A 100										
		A 80							B 20			
組織運営・情報管理	21 教育方針を保護者に説明している	A 78						B 22				
		A 40					B 60					
組織運営・情報管理	22 職員集団として適切に機能している	A 44				B 44			C 11			
		A 60					B 40					
組織運営・情報管理	23 個人情報の保護に努めている	A 67							B 33			
		A 90								B 10		
研修	24 組織的な校内研修が実施されている	A 67						B 33				
		A 90								B 10		
研修	25 授業方法の検討・改善を行っている	A 56					B 44					
		A 80						B 20				
研修	26 課題を取り入れた校内研修を行っている	A 33				B 67						
		A 80						B 20				
研修	27 資質や指導力の向上に努めている	A 44				B 56						
		A 50					B 50					
保護者地域との連携	28 学年だよりやHPで情報を発信している	A 56					B 33			C 11		
		A 50				B 30			C 10			
保護者地域との連携	29 積極的な学校公開に努めている	A 44				B 44			C 11			
		A 40					B 40			C 10		
保護者地域との連携	30 保護者とのコミュニケーションを積極的に図っている	A 44				B 22				C 33		
		A 30				B 40			C 30			
施設・設備	31 備品や教材教具が活用されている	A 33					B 56			C 11		
		A 30				B 60				C 10		
施設・設備	32 施設設備の日常的点検を実施している	A 67						B 33				
		A 70							B 30			
施設・設備	33 学校が清潔で美しく整っている	A 44				B 56						
		A 40					B 60					

<考察>

○A評価で昨年度を上回ったのは18項目で、うち10項目が20%以上上回った。中でもNo.1が33%、No.2が36%、No.3が33%、No.26が47%と大きく上回った。

○研修に関する評価が高くなったのは、今年度国語科を中心とした授業研究を進めてきた成果であり、専門の講師を招聘しての校内研修が充実していたということがわかる。また、教育課程に関しては、「各教育活動ごとに反省をしっかりと集約し、それを事後の活動に生かす」とこの積み重ねによる成果である。今後も充実した教育活動が行われるように努力していきたい。

●一方、A評価が昨年度下回ったのは15項目で、No.6が27%、No.20が20%、No.21が38%と大きく下回った。また、No.30のC評価が30%と昨年度同様に高い。

●No.21「教育方針を保護者に説明」No.30「保護者とのコミュニケーション」の評価については、学年懇談会や教育相談等を中心に様々な機会を活用して、教育方針を保護者に理解していただけるように努力していきたい。

●備品の活用については、昨年度同様3割程度である。教材教具を積極的に授業に活用していきたい。また、道徳教育に関する評価も若干低いので、今後重点化していきたい。